国際ロータリー第 2550 地区

黒 磯 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 会 報

国際ロータリー会長:ホルガー・クナーク
第 2550 地区ガバナー: 森本敬三
事務所:〒325-0826 宇都宮市西原町 142
宇都宮グランドホテル内
TEL:028-651-2550
FAX:028-651-2551
E-mail: m2550@agate.plala.or.jp

ロータリーは機会の扉を開く

会　長：大島三千三　幹　事：秋葉秀樹
事務局：株式会社　帝都
代表取締役　秋葉秀樹
〒325-0051　那須塩原市豊町13-9
TEL:0287-62-3131・FAX:0287-62-5455
E-mail:hideki_akiba@akibacorp.com
例　会：国民の祝日を含まない週の水曜日
12:30 - 13:30
割烹石山　那須塩原市本町 5-5

第2918回　大島年度　第29回　会報　2021　04-14　司会　井出法君

会長挨拶　大島三千三会長

皆さんこんにちは、季節の変わり目花冷えの日々が続いておりますが、体調に変化はございませんでしょうか？花粉症も治まらず、マスク着用とゴーグル眼鏡が必須の毎日です。

さて、先日ロータリーRI会長　ボルガー・クナーク氏のご挨拶の一文に、今年の「アースデー（地球の日）」4/22は、新たな使命感を持って迎えることになります。「環境」がロータリーの重点分野に加わったのです。どんな大きな課題でも、解決策は私たちの手の中にあります。私たち一人ひとりが、行動を変えるだけで大きな変化を起こせるのです。とありました。

私自身「資源リサイクル」の仕事に携わっていることもあるのか、ここ数年の自然環境や気候変動が自分が子供の頃とは違った季節感を感じるものがあります。温暖化の影響も加味しているのかもしれません。「環境」の変化を敏感に感じ取って、対応していかなければならないと思います。

さて、先日とあるTV番組で、ウミガメの足にプラスチックゴミが絡まり動けないでいる映像が放映されていました。ボランティアの方達により無事に救出され海に帰されました。プラスチックゴミを餌と間違えて飲み込んでしまうという話も耳にします。

栃木県は海なし県ですが、海まで続く那珂川は清流として那須塩原市を源に流れています。私たちは、その源流を守り自然体系を壊す事の無いように努めなければならないと思います。ゴミの分別やエコバック持参、ポイ捨て禁止など基本となる「環境問題」を真剣に考え、行動していかなければならないと思います。皆さん一人ひとりの意識改革が、「環境破壊」「気候変動」に歯止めをかけることに繋がると思います。

また、黒磯ロータリーは、「環境」について素晴らしい活動を既に行っております。那珂川の水質調査です。12年以上継続されている事業です。今年は、コロナ感染拡大の影響で縮小されますが実施する予定です。

私たちからきれいな海へ・・・キラキラと光る波間にゴミなど浮かばせない！餌と思わせる様なゴミを流さない！

私たちみんなで「環境」への意識向上をしていきましょう。

出席報告　出席委員会　黒澤洋一君　　（出席規定の免除会員数7名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日（4月14日）	37（7）	31（4）	6（3）	91.0%		
前回（4月7日）	37（7）	30（4）	7（3）	88.2%	2	95. 0%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076　（以上石山桂子）
メール　qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

お客さま

社会奉仕委員会の事業として例年行われております各種団体への支援金贈呈式を行いました。ご多用の中各団体の代表者様にお越し頂き、大島三千三会長より支援金を贈呈させていただきました。各代表者様からは卓話にて活動のご報告を頂きました（後述）。

那須山岳救助隊
隊長　渡部逸郎様

那須保護区保護司会
会長　鈴木正義様

ﾎﾞｰｲｽｶｳﾄ那須塩原第一団
団委員長　髙木慶一様

ガールスカウト栃木第34団
団委員長　志村智子様

こっこ食堂
代表　安藤譲治様

幹事報告　秋葉秀樹幹事

● 幹事報告
報告事項はございませんでした。

● 理事役員会（4月7日開催）報告
・5月プログラム（承認）
・外来卓話
➢ 5月12日（水）青少年奉仕委員会担当
　黒磯高校インターアクトクラブ（予定）

➢ 5月19日（水）SAA担当
　　株式会社adtown（アドタウン）
　　代表取締役　石下かおり様
➢ 5月26日（水）ロータリー情報委員会担当
　　那須塩原市図書館館長　山田隆様
・那須塩原市国際交流協会
　　支援金　10,000円（承認）
・被害者支援センターとちぎ
　　支援金　10,000（承認）

委員会報告　植竹一裕副会長

安藤譲治次年度幹事

次年度理事役員会を来週21日例会後に開催致しますので、次年度理事役員の方はご出席下さい。

鈴木隆子青少年奉仕委員長

青少年奉仕委員会からのご連絡です。
以前にもご案内いたしましたが、インターアクトの活動援助を目的としたインターアクトスマイルボックスでございますが、皆様にご協力いただきまして魅力ある本も沢山集まって参りました。気にいった本がございましたらおいくらでも構いません。どうぞご覧いただきましてご協力のほどよろしくお願いいたします。

ニコニコボックス委員会
小野安正君

安藤譲治君
こっこ食堂へのご支援ありがとうございます。
藤﨑善隆君
誕生祝ありがとうございました。忘れてました。
髙木慶一君
ボーイスカウト助成金ありがとうございます。
長山三芳君
先週次男が中学校に入学しました。

卓話
クラブ協議会　大島三千三会長

本日は会長担当のクラブ協議会となっておりますが、社会奉仕委員会による各団体への助成金の贈呈・各団体様の活動報告、並びに荒牧会長エレクトによる会長方針と計画、地区ガバナーの活動方針等についてご報告をして頂きます。
また、このコロナ禍の中、次年度への引継ぎをする時期となりました。各委員会にて引継ぎ会を行って頂き、次年度が円滑に発足できるよう炉辺会議などを活用して頂ければと思いますのでご協力をお願いいたします。

社会奉仕委員会泉道夫委員長

皆様こんにちは。社会奉仕委員長の泉道夫でございます。

本日は大島三千三会長の時間を頂戴し、社会奉仕委員会の活動助成金贈呈式を執り行いますのでよろしくお願い致します。

社会奉仕委員会は私の他、井出法副委員長、澤田吉夫さん、小野安正さん、安藤譲治さんの5名で運営しております。

本日は那須山岳救助隊隊長　渡部逸郎様、那須保護区保護司会会長　鈴木正義様、ボーイスカウト那須塩原第一団団委員長　髙木慶一様、ガールスカウト栃木第34団団委員長志村智子様、こっこ食堂代表　安藤譲治様にはお忙しい中お越し頂きありがとうございます。

ロータリークラブも奉仕団体として諸々の活動をしているところではありますが、専門的な知識や技術を要する事業など、ロータリーでは限界があるものと思われます。

そうした活動をされている団体様には助成金を贈呈させて頂くことにより、その活動を支えていくことも形を変えた奉仕であると考えております。

本日は各団体の皆様に、活動のご報告を頂き理解を深めていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

那須山岳救助隊隊長　渡部逸郎様

みなさまこんにちわ。那須山岳救助隊の渡部逸郎と申します。

山岳救助隊もお陰さまでまもなく50周年を迎えます。この間、長きにわたり助成金ありがとうございます。

私は埼玉の方で不動産業を営んでおります。山岳救助隊は那須町・黒磯の山岳会で隊員を組織して、14名で以前よりは半分ぐらいに減りましたが、若い人を中心に活動しております。

今年からは宇都宮の済生会病院より国際山岳医の先生にいざという時にはお越し頂ける体制となっております。

救助隊の活動ですが、4年前の高校生の遭難事故の時に駆けつけたように、いざというときに、消防や警察で対応できない山の事故に真っ先に対応することになっております。

受け持ちは那須町・那須塩原市全域ですが、特に年間を通じて利用者の多い那須岳のパトロールを行っております。多いときには年間70万人ほどと登山人口が多く、救助要請は非常に多くなっております。実際の救助要請はヘリでの対応が多くなっております。那須岳には現在地番号を救助隊で割り振っておりまして、その番号を報告して頂ければ、天候にもよりますがすぐに消防ヘリが急行することになっております。地上からも駆けつけることになっておりますが、圧倒的にヘリが早いというのが現実です。

また、那須温泉神社の開山閉山祭の協力をおこなっております。

民間救助隊があるのは全国でも珍しい状況です。隊員の安全確保のために難しい状況で公的機関が行っているのが主流ではありますが、那須では皆さまのご協力もあり、現在無報酬・救助活動の請求も無しで活動をしております。

また救助訓練を消防警察と三者一体で協力しております。私どもの技術と消防団員の方の若い力とタイアップして行っております。

このような活動の継続のためにも、今後ともご支援ご指導のほどお願い申し上げます。

那須保護区保護司会会長　鈴木正義様

ご挨拶申し上げます。
私は、那須保護区保護司会会長を務めております。鈴木正義です。
本日は貴重な浄財を私たち保護司会の活動資金として寄贈頂き、深く感謝申し上げます。また、長年にわたり過分ななるご寄付を頂いていることに重ねて御礼申し上げます。
ご承知の通り、私たち保護司会は犯罪や非行をした人たちの更生を支える活動と共に、犯罪や非行を生まない住みよい地域作りのために関係機関・各種団体等との連携を深めながら活動をしております。
本年度はコロナ禍により、一部活動制限・中止等を余儀なくされましたが、更生保護に手を休めることは出来ません。保護司一丸となって知恵を絞り事業を実施して参りました。なお、活動の詳細につきましては、後日お届け予定の令和2年度総会資料に記載しておりますので、本席での報告は割愛させて頂きます。

1. 保護司会･･･保護司法・更生保護法に基づく法定組織
   栃木県内13の保護区　定員927名（現在815名）
   那須保護区（那須塩原市・那須町）定員69名（現在64名）
2. 事務所･･･那須塩原市いきいきふれあいセンター1F更生保護サポートセンター（更生保護全般の拠点及び市民相談窓口として、月・水・金の終日開設）

保護司活動･･･大きく分けて2つ

1. 更生保護活動･･･犯罪や非行により矯正施設より仮釈放・仮退院した人たちが再び社会の一員として健全な生活が出来るように支援する活動
2. 犯罪予防活動･･･昭和24年戦後の荒廃した街にあふれた少年の将来を危惧した銀座商店街の有志がイベントを開催したのが始まりで、その後法整備され昭和26年より法務省主唱による「社会を明るくする運動」として全国展開され、今年で71回目となる。本保護区では市長が委員長となり各種団体の役員で組織（構成メンバーは自治会長・小中学校校長・民生委員・PTA会長・更生保護助成会各区代表・市関係者・協力雇用主会会長・保護司会役員等約40名）され、推進委員会を開催、毎年7月を強調月間として活動している。
   （思いやり、支え合い、助け合いの心で住みよいまちづくりに活動を推進）更に平成28年に施行された再犯防止法の強調月間としている。栃木県再犯防止推進計画が策定され、県民挙げてこれらの推進に向けても活動している。

これらに加えて就労支援の活動を行っております。帰るべき場所がないままの矯正施設からの出所者が多いこと、そして就労の門戸を閉ざされ就労の機会が極めて少ないという現状があります。矯正施設入所者の60％が再犯者で、そのうち70％が無職者であることから、就労支援は喫緊の課題です。
そのために当保護司会では平成21年に市内の事業者の協力を得て協力雇用主会を組織し、現在60社の会員を擁し、会長を黒磯ロータリークラブメンバーの瀬尾紀夫様にお願いして活動頂いております。
今後とも、引き続き更生保護にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、黒磯ロータリークラブさまのますますの発展をご祈念申し上げ、御礼のご挨拶と致します。

ﾎﾞｰｲｽｶｳﾄ那須塩原第1団団委員長
髙木慶一様

今日は黒磯ロータリークラブの皆様から社会奉仕委員会を通じて私達ボーイスカウトに助成金いただきましてありがとうございます。
那須塩原第1団は昭和51年12月7日に黒磯ロータリークラブと黒磯那須青年会議所の支援をうけて黒磯第1団として発団しました。
黒磯ロータリークラブ山田一典さん後藤栄次さん達、青年会議所から田村吉興さん大森貞男さん深谷　穆さん吉田亜雄さん鈴木隆子さんのご主人知義さんと私、田村吉興さん初め皆さん黒磯ロータリークラブのロータリアンでした、田村さんが黒磯第2団（東那須野地区）の隊長、私が黒磯第1団（黒磯地区）の隊長、吉田亜雄さんが副長で発団しました。その後１市2町の合併で那須塩原市となりましたので黒磯第1団から那須塩原第1団に名称変更しました。黒磯ロータリークラブの皆様のご支援ご協力を頂き、早いもので9年前になりましが平成24年7月15日に東原活動センターにて35星霜の式典を挙行させて頂きました。発団以来本年で44年になります。
その折、黒磯ロータリークラブの会員企業様から記念誌広告を沢山頂き改めて御礼申し上げます。令和2年度の活動報告ですが新型コロナウイルスの感染拡大で4月から6月まで活動を自粛いたしました。またいつも「巻き

狩り祭り」や「ふれあい広場」などに参加して奉仕作業をしてきましたが昨年は両方とも中止となってしまいました。11月から令和3年2月まで緊急事態宣言で自粛することになってしまいました。昨年度は新入隊員が8名も入隊したのに活動ができず退団してしまうのではと心配しています。

2018年8月に17NJ日本ジャンボリーが開催されました。当団から指導者2名スカウト4名参加しました。来年度18NJが東京で開催されます、東京で13,400人のキャンプどこでやるのか楽しみです。そのための訓練を令和3年度はやらなければなりませんがコロナの収束が待たれます。早くワクチン接種が進みオリンピックも開催されれば隊活動もできるようになると期待しています。

黒磯ロータリークラブからの多額の助成金はボーイスカウト那須塩原第一団としては大変助かっています、市からの補助金がコロナ禍のことで減額されましたので本当に助かります、ありがとうございます。感謝の気持ちを申し上げて報告とさせて頂きます。

ガールスカウト栃木第34団団委員長 志村智子様

この度は、ガールスカウト活動にご理解をいただき、活動助成金を授与くださりありがとうございます。栃木県第34団　団委員長の志村と申します。

私たちガールスカウト栃木県第34団は、今年度で活動29年になります。スカウト数は30名、リーダー（指導者）は10名、スキャップ（指導者補助）3名となり、栃木県で3番目に登録が多い団となりました。これも、ロータリーの皆様や地域の方々に支えていただいたおかげだと思っております。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、集会の縮小をせざるを得ず、部門ごとの少人数での集会やオンラインを中心に活動いたしました。各部門の活動についてご報告いたします。

中学生・高校生のシニア・レンジャー部門では、「フードロス・フードバンク」、「服のリサイクル」について調べ、Zoomを利用したオンライン集会で計画を重ねました。年少部門にもわかりやすいように紙芝居を作ったので、中学生・高校生を中心に全部門で話し合いをして地域へ貢献できるようにしていく予定です。

小学生4年生から6年生のジュニア部門では、学校が休校になった4月・5月のステイホーム中に、「古着でのマイバッグ作り」や「ヘアドネーションに挑戦」など、今自分たちにできることを自ら考え実行してくれました。

また、SDGsについても学び、学校・家庭で実践できることを計画しました。

就学前のテンダー部門と、小学生1年生から3年生のブラウニー部門では、「平和」について学びました。コロナ禍で差別・偏見などを耳にすることが多く、みんなでやさしい気持ちで過ごすにはどうすればいいのか、『ふわふわ言葉』と『ちくちく言葉』についても考えました。

このように、日々子供たちの力は私達大人が思う以上に成長しています。成長をそばで感じられ、とても嬉しく思います。

これからのガールスカウトのビジョンは、「すべての少女と女性が自分らしく生きられる社会」を目指して、行動する女性を育てることです。

今後とも、私達の活動をあたたかく見守っていただけたら幸いでございます。会員一同、日頃のご支援心より感謝申し上げます。

本日は、誠にありがとうございました。

こっこ食堂代表　安藤譲治様

本日は、こっこ食堂に大切な資金を御支援頂きありがとうございます。

こっこ食堂は平成29年9月から子ども食堂として活動しています。

平成30年9月に財団補助金を利用した助成を頂いてから、中学生以下の子どもを無料にすることが出来ました。昨年4月までに、子どもが805人大人534人の1,339人の方に利用頂きました。その後は新型コロナの影響で店内での飲食は自粛してお弁当にしていますが、

897人の方にご利用頂いています。
　現在の課題は、ボランティアが不足している事と、実際に利用頂いている方が貧困では無さそうな方が多い事です。
　ただ、元々活動を始めたきっかけの一つに、現在の食生活が日本人の身体に合っていないために生活習慣病が増えているので、これからを担う子どもたちに健康的な食事を提供したいということがあります。
　私が活動している一般社団法人日本伝統医療協会の創設者である鎌谷先生は、20年以上前から、「今のような食が続いていくと2人に1人が癌になるような時代になる」と言っていましたが現実になってしまいました。それと一緒に言っていたことに、「親が子どもの葬式を出すような時代が来てしまうよ」ということです。
　私の出来ることには限りがありますが、これからも頑張っていきたいと思います。

荒牧明二会長エレクト
2021-22年度活動方針

　この度、黒磯ロータリークラブ第62代会長に就任することとになりました。会員の皆様のご指導、ご協力を頂きながら、新しい決意でこの一年、「挑戦」と「行動」で進んでいきたいと思いますので、皆様よろしくお願い申し上げます。
　2021-22年度国際ロータリー会長シェカール・メータ氏は「奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために」をテーマに掲げ、目標に「会員を増やしてロータリーの参加者基盤を広げる」「世界に奉仕してより大きなインパクトをもたらす」を掲げました。
　また、第2550地区石田純一ガバナーは「未来のクラブを描きましょう」をテーマとし、「増強は最大の社会貢献である　ロータリー奉仕デーの実施」を掲げました。
　これらを踏まえて、2021-22年度黒磯ロータリークラブは、会員増強2名、例会の充実、親睦行事の充実、創立60周年事業の開催をして参ります。
　昨年からの新型コロナウイルス感染症の蔓延により、会員同士の親睦もままならず一日も早く回復し楽しい親睦が出来ますよう、奉仕と増強の実践により楽しいクラブづくり、更なる活性化と魅力あるクラブづくりに努めて参ります。
【本年度の計画】
1. 例会の充実　楽しい親睦行事の実施
2. 奉仕活動の充実　全会員の参加
3. 会員増強　純増2名
4. 米山記念奨学会　19,000円／人
5. ロータリー財団寄付目標達成　US＄180／人（財団＄150＋ポリオ・プラス＄30）
6. 創立60周年事業に向けて
7. ハイブリッド会合の推進

司会　井出法君

出席報告　黒澤洋一君

4月14日欠席（敬称略）
鳥居輝一・和気勝利・荒井昌一・瀬尾紀夫
北畠大輔・戸野俊介

前回4月7日分メークアップ（敬称略）
鳥居輝一・片田航介

次回例会　　令和3年4月21日　　担当　地区委員

近隣クラブ例会日
〇火曜日　西那須野/いとう屋　0287-36-0028
〇木曜日　大田原中央/勝田屋記念会館　0287-23-4165

近隣クラブ例会日
〇木曜日　大田原/ホテル花月　0287-54-1105
〇金曜日　黒羽/ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：藤崎善隆・稲垣政一・高木茂・田中徹・相馬征志